



## 国際共生社会研究センター

Center for Sustainable Development Studies

オープンリサーチセンター

### センターのさらなる発展に向けて

東洋大学国際共生社会研究センター（オープン・リサーチ・センター）  
センター長 松尾友矩

平成13年度から17年度の前で設立されました当国際共生社会研究センター（オープン・リサーチ・センター）は、皆様のご理解とご協力により今年で無事に中間年を迎えることができました。持続可能な開発、あるいは環境との共生、さらには国際社会における人々の共生といった課題を対象とし、「共生の理念」の形成、成熟、普及を進めることを目標に、これまで研究を進めて参りました。先日、中間報告書を作成いたしました。その過程で、これまでのセンターの活動に対する反省や今後の展開に対して議論をいたしました。国連開発計画（UNDP）、世界銀行、アジア開発銀行、国際協力事業団（JICA）等国際協力関係機関との協力関係の強化とともに、アジア工科大学院（AIT）、バン格拉ディッシュをはじめとする NGO グループとの協力体制の充実等短時間のうちに国際的なネットワークを形成することができました。これは多くの方々のご支援、ご協力によるものと感謝しております。しかしながら当センターが目指しております成果の達成には、プロジェクト間の調整や、「共生」の概念を計測するための尺度の構築などが今後の課題として痛感される所です。国際共生社

会の形成という課題は時宜にかなったものであると同時に研究が進むほどにその重要さと奥の深さが再認識されて参りました。今後当センターの優れたところをさらに強化するとともに、不十分なところを補強し研究の向上に努めていきたいと考えております。

この一環といたしまして、今年6月より新たに6人の研究員が加わりました。新規に参加しました研究員の研究計画につきましては本号でご紹介しておりますが、ユニークな研究をしてきた研究員ばかりで、センターの発展に大いに貢献してくれるものと期待をしておりますとともに、センター全体として大きな成果にまとめあげるべく、研究員一同とともにますます努力して参りたいと気を引き締めている所です。

末尾になりましたが、私は本年9月11日付けをもちまして、東洋大学第39代学長に就任いたしました。引き続きセンター長として当センターの発展のために微力ながら尽力して参る所存でございますので、皆様方におかれましては従来にも増して当センターにご支援をいただきますようお願いいたします。

### ワークショップ 持続可能な地域開発に向けて

日時: 2004年1月10日(土) 13:00~

会場: 雨水会館

#### 第Ⅰ分科会

発展途上国の地域開発における環境配慮

#### ■ 報告者及び演題

橋本 善太郎 (プロジェクト3)

「環境アセスメントの考え方の変遷」

原科 幸彦 (東京工業大学教授)

「国内における参加型の地域開発の実践」

大矢 剣治 (名古屋産業大学教授)

前国際連合地域開発センター主任研究員

「発展途上国における参加型の地域開発の実践」

金子 彰 (プロジェクト3)

「地域開発のガイドライン」

#### 第Ⅱ分科会

「サステイナブル」の定義を求めて

#### ■ 報告者及び演題

久留島 守広・薄木 三生 (プロジェクト2)

「地球環境・環境保全に関する

サステイナビリティの考え方」

太田 勝敏・小浪 博英 (プロジェクト2)

「交通・都市施設に関するサステイナビリティの考え方」

佐々木 宏茂・松園 俊志 (プロジェクト2)

「観光に関するサステイナビリティの考え方」

古田 富彦・長濱 元 (プロジェクト2)

「危機管理・教育からのアプローチ」

(6ページに関連記事)